HamaMed-Repository
浜松医科大学学術機関リポジトリ
浜松医科大学
Hamamatsu University School of Medicine

巻頭言

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 静岡県母性衛生学会 公開日: 2023-03-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 西口, 富三 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/00004290

～　第10巻1号　～

巻 頭 言

静岡県母性衛生学会
会長　西口富三

2020年初頭にはじまった新型コロナウィルス感染症（SIRS-COVID-19）は、その抗原性を変化させながら隆盛を繰り返し、現在第7波の渦中にあります。当初は極めて致死性の高い病原性であったものが、次第に感染力増強にシフトし、現在は一日数十万人の新規感染者の発生をみるといった状況となっています。

このパンデミック感染症はグローバル社会の抱える危険性・脆弱性を露呈せしめ、その結果、我々は新しい社会スタイルへの転換を余儀なくされたわけです。その一つが、テレワークやオンライン会議です。これは今や常識となっていますが、その流れのなかで、学術集会や研修会も、従来の対面形式ではなくオンライン形式（WEB、ハイブリッド形式）での開催に様変わりしました。2020年10月に浜松で開催しました第61回日本母性衛生学会学術集会も準備段階の途中で急遽WEB形式に切り替えての対応となりましたが、会員の皆様をはじめ、多くの方々のご支援をいただき、無事成功裏に終えることができましたこと、改めて感謝申し上げる次第です。

さて、本学術雑誌ですが、2019年の第9巻第1号以降ここ2年間発刊を控えてきました。2020年は第61回日本母性衛生学会学術集会主催により、そして、2021年はオンラインジャーナルへの移行準備期間として、そして、今回ようやく第10巻1号の発刊に至った次第です。限りある資源のなか、SDGs(Sustainable Development Goals：持続可能な発展)の見地からも、多くの学会誌が電子ジャーナル化しており、今回ようやくその仲間入りができたということです。ご助言いただいた伊東宏晃先生、手続きに御尽力いただいた安田孝子先生、鈴木一有先生に感謝申し上げます。

今回が電子ジャーナルでの初刊（第10巻）となりますが、症例報告1編と学会だよりという若干さびしい構成となりました。次巻以降、会員の方々から多くの投稿があることを期待いたします。なお、これまでの学術雑誌（第1巻～第9巻）も電子化して掲載していますので御活用ください。

最後になりますが、会員の皆様の益々のご健勝を祈願し巻頭の辞といたします。

（令和4年10月記）